

廿九日出勤就業三十名

廿五名アレルノ都廿一名計方十三名シテ合共二十一

出勤就業三十名出勤者五十八名ナリ

一方須山方ニ集合セル約五十名職工別提議

而玉子時計工廠へ援國ト仰ニ言事同夜工場附

近搬布セル者ナリ三十日モ前記須山方ニ集合セル

毛早ニ集合ニ居ル者ナシ入而シテ是裏ニ解雇セラル渡通

滿三、須山涉兩名、并謹土布施辰治ヲ其、自宅

二訪問、調停方リ申込ニタル模様ナリ

廿一日出勤職工銀例金四十七名、金側部十六名ニリ

新廿二名アレルノ都三十二名計百十六名ニ達ル、平徳

會社側、并謹土布施辰治(職工例金)、人會見更述

ト、會見拒絶、諭シ其旨面告セ

四月工職工引鑄牛須山方ニ集合セルニ布施並謹土

調停リ、試山ルコト、ナリニ、為テ時計修復工場設立

其、結果リ待ツコトトシニ鑄鐵ナリ、但既設立退散ナリ

本文出勤セルノ時計工三名、碑派中、取派十國セラル、草林

塙一外廿名、四月一日止出勤猶モリ、申出行ルニ付

乙、會社、認定、立意縦ナリ、其、他、出勤申出ナリ

ササル最硬派四十三名、計二十九名ナリ、廿二日未雨連轡

即便リ以テ解雇申去テ改就業セ

廿二日布施並謹土、第鴨署長、執行旋三全署

二十六、會社側、委員人會見シテ一次解雇並聯主